

インド・南アジアにおける ILO産業保健技術協力

— 参加型トレーニングの応用 —

ILOは国際労働基準を参照しながらインド・南アジア諸国における産業保健技術協力を推進しています。とりわけ、既存の産業保健サービスの届かないインフォーマル経済労働者への支援、サプライチェーン全体を見るアプローチ、廃棄物リサイクル職場への支援、そして政策法制度強化への協力に力を入れてきました。その中でワイズ方式参加型トレーニングが活用され、労使による自主的な安全保健リスク低減活動を推進しています。日本における成果のあがる産業保健活動を考える上でも示唆を与えています。

開催日時 2022年 **5月6日** **金** **18:00▶19:30**

参加費 **無料**

講師

対象

- ・看護職をはじめとする医療にかかわる方々
- ・学生や休職中の方々も参加OK
- ・有資格者でなくてもOK
- ・医師・歯科医、介護・福祉関係の方もぜひご参加ください

ILO南アジアディーセントワーク技術支援チーム
労働安全衛生・労働監督上級専門家

川上 剛氏

1984年東京医科歯科大学医学部卒業。1988年同大学院（社会医学系）卒業。1991年まで産業医学総合研究所（現・労働安全衛生総合研究所）、その後2000年まで労働科学研究所（現・大原記念労働科学研究所）に勤務し、日本およびアジア各国の労働現場における安全衛生調査やトレーニング活動に従事。2000年からILOアジア太平洋総局（バンコク）に労働安全衛生専門家として勤務。2011年よりILO本部（ジュネーブ）勤務を経て、2017年よりILO南アジアディーセントワーク技術支援チーム（ニューデリー）で労働安全衛生・労働監督上級専門家として勤務。ILO国際労働基準の普及、労働安全衛生政策・行政システム強化、参加型トレーニング手法による中小企業・小規模建設現場・家内労働・農業等への産業安全保健サービス拡大に携わる。

お申込み

まずはアカデミア看護研究会に会員登録（無料）していただき、お申込みください。
準備ができ次第、事務局からZOOMのURLをご連絡いたします。

アカデミア看護研究会とは？

看護職をはじめ医療にかかわる皆様が、就業継続をしながら学び続ける機会を提供します。研修会、講演会、ワークショップ、研究討論などを通じ、情報交換や会員相互の親睦を図ります。

●アカデミア看護研究会の活動のご紹介

定例会：隔月 第1金曜日 18:00～19:30 隔月①学習会、②支援会を交互に開催いたします。
学習会：労務管理、人事管理、人事考課、労務環境と身体との関係、医療現場のICT化の最先端情報、医療現場のAI化の最先端情報、海外事情の他、リベラルアーツの学習や本の読み方など、多彩な講師陣を予定しております。

連絡先

アカデミア看護研究会会長
中島美津子 (m-nakashima@thcu.ac.jp)

●会員登録のご案内

<http://ns-aca.com/join/>

●第21回学習会の詳細・お申込み

<http://ns-aca.com/学習会/20220506/>

会員登録係

看護職の採用と定着を考える会事務局
(info@rsn-kango.com)

会員登録が
まだの方は
こちらから



アカデミア看護研究会

検索

